

いわいずみ 議会だより Iwaizumi

2015
4.15
No.

171

発行 岩手県岩泉町議会

ふるさと岩泉の
大家族
(関連記事 24頁)



議会基本条例を制定 もっと身近な議会へ…2

議会の要望に町はどう答えたのか…4

いわて国体に向け球場を大改修…6

住宅施策などを問う（8議員が一般質問）…14

きな前進 ~議会基本条例制定~

もつと身近な議会へ



岩泉町議会議長 加藤 久民

議会基本条例の制定にあたり町民の皆様にご挨拶を申し上げます。議定会例会の傍聴者は毎回3人以上、地区別の議員と語る会は1会場平均25人以上という実績から、町民の皆様「この町を良くしたい」という思いはその意を同じくするものと認識しており、心より深く感謝を申し上げます。

丸となって取り組んだものです。この条例は、議会活動を町民の皆様と共有するとともに、議会や議員のあるべき姿を条文化し、議員の進むべき道を内外に約束するものです。国から地方への権限委譲が進み、地方自治体の自己決定・自己責任の範囲が拡大していることから、議会の果たす役割がますます重要となっています。

このような状況の中で、議会および議員の活動を分かりやすく皆様にお伝えし、問題点を共有し、意思を反映しながら、ともに考えていける議会を目指します。そして、時代に即応しながら検証と改革を重ねて、「町民の皆様との身近な議会」として岩泉町の未来を担っていったらと思っております。



議員と語る会の様子（浅内会場）

開かれた議会 構築へ明文化

平

成25年6月からスタートした議会改革調査特別委員会（佐々木久任委員長）は、町民と協働のまちづくりを目指し、開かれた議会の構築のため、17回に渡る論議と研修を重ねてきました。そして、議会および議員の最高規範とし、第1章から第9章まで全24条からなる「岩泉町議会基本条例」を3月定例会において全会一致で可決制定されました。主な内容は、議会の責務、議員の責務、町民との関係、町長等との関係、政策立案等です。

大へ会議の働協

議会って何をやってるの？

岩

泉町を住み良い町にするためには、町民がみんな話し合うことが理想です。

しかし、実際には全員集まって話し合うことはできません。

そこで、町民の皆さんが選挙によって、町長や議員を自分たちの代表者として選び、その代表者の話し合いによって町政の運営をします。この話し合いの場が議会です。

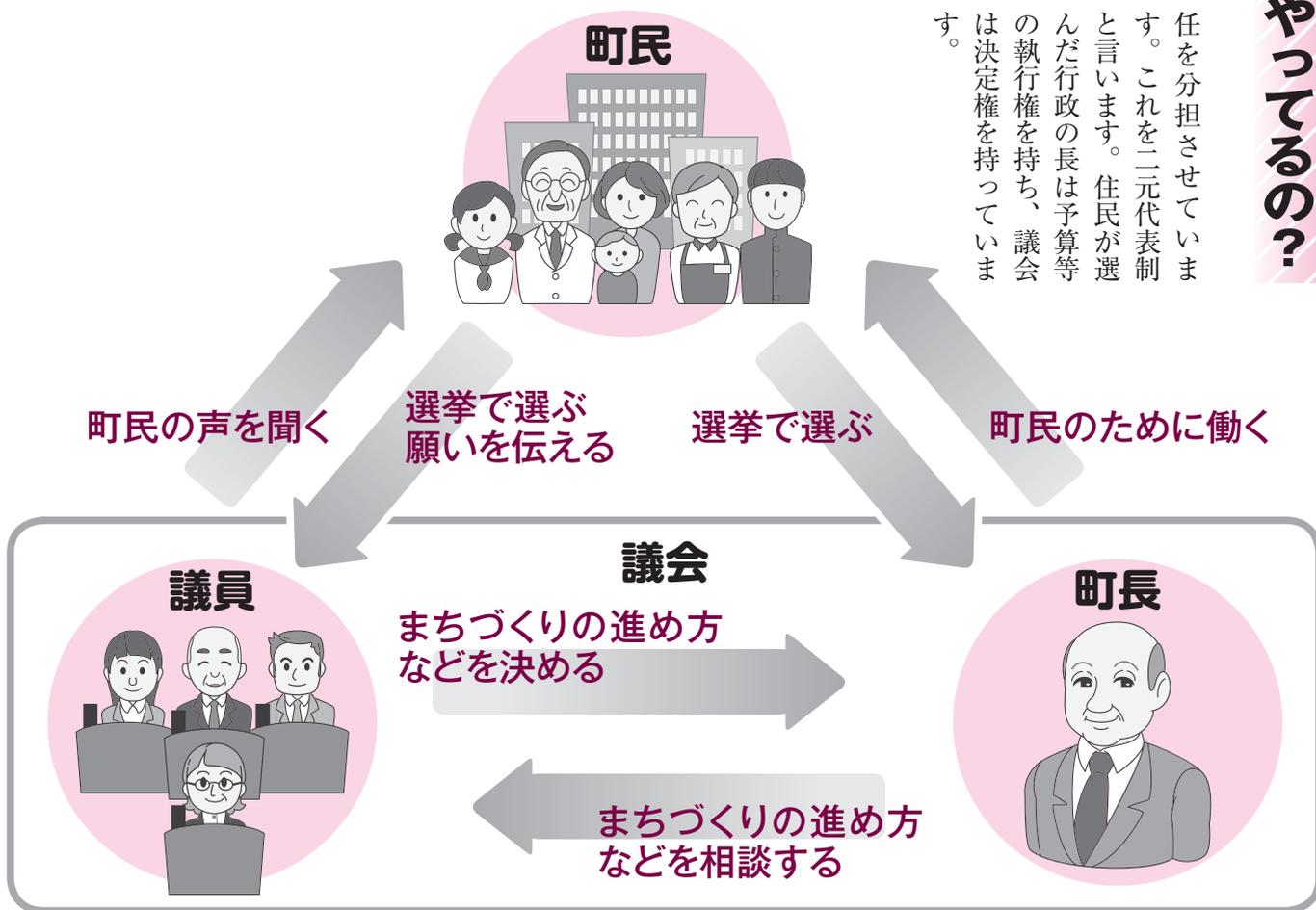
**町長には執行権
議会には決定権**

国

は、国民が議員を選び、行政の長である首相は議員が選びます。これが一元代表制です。

一方、地方自治体は、住民が行政の長と議員を選び、それぞれの責

任を分担させています。これを二元代表制と言います。住民が選んだ行政の長は予算等の執行権を持ち、議会は決定権を持っています。



本会議の様子

ここが
変わります

■災害時における議員のマニユアルを策定

■政治倫理規定の厳格化によって規制

■本会議の録画配信（ぴーちゃんねっと）

■年1回以上の意見交換会を義務化

■議会基本条例推進委員会を設置し、常に検証と改革を実施



検証

議会の施策要望に

町はどう答えたのか



伊達町長に要望書を手渡す
議長と政調会役員ら

町議会と町議会議務調査会（佐々木久任会長）は昨年9月、平成27年度の町の施策に対する要望書を町に提出しました。
この要望に対し町がどう答えたのか。
回答とその後の施策を検証します。

要望1

震災復興の促進を 最善の努力を行う

〔要望〕 小本地区は、今なお仮設住宅住まいで生活不安を感じている町民も多いことから、安心して暮らせるよう、復興の促進について引き続き努力をされたい。

〔回答〕 震災復興は、おおむね当初計画のとおりに進んでいる。集団移転地59区画が完成し、区画配分が確定。工務店等と相談を始めている人もいる。

検証

集団移転地では、基礎工事を始めている区画があります。また、地域の賑わいを創出するため、27年度完成を目指し、被災跡地活用地域活性化事業で産直施設と加工室が整備されます。

要望2

防災・減災対策の強化を 全戸に防災マップを配付

〔要望〕 昨今の日本列島は台風や集中豪雨による大規模な土砂災害が発生している。本町でも25年7月に国境・見内川地域が集中豪雨で大きな被害を受けた。

〔回答〕 町民が自らの危険度を把握し、避難行動などを事前に検討できるようにハザードマップなどを盛り込んだ「防災学習・防災マップ（仮称）」を新規に作成する。

また、町職員全体の総合的な防災力の向上を目指し、防災士の育成に取り組む。

検証

26年度に防災士が1人育成されました。27年度は5人育成される予定です。また、2種類の防災マップを作成するため、27年度予算で印刷製本費503万円を可決しました。





入学試験の合格発表の様子。59人が合格しました（岩泉高校）

要望3

岩泉高校への支援の強化を
末永く存続させるよう支援

【要望】今までも他に例を見ないほど支援をしているが、さらに支援すべき点があると思われる。

【回答】岩泉高校は、本町の将来を担う人材の育成に必要であり、引き続き支援を行う。

検証

新たな支援策として大学進学費補助金75万円を27年度予算で可決しました。

また、岩泉高校秀峰寮の入寮生への支援を月額7000円から1万7000円に拡充し、帰宅交通費支援と併せて補助金316万円を27年度予算で可決しました。



大学進学費補助金とは

岩泉高校生のうち、経済的理由により国公立大学への進学が困難な生徒へ入学料と授業料の半額を補助する制度です。27年度卒業生から対象となります。

要望4

森林の有効活用を
機械の導入を支援

【要望】本町は総面積の93%が山林である。長期的な計画のもと、森林の有効活用策を急ぐべきである。

【回答】岩泉町森林組合を中心に計画的な木材生産に向けた取り組みが必要であることから、集約化、経営計画の樹立促進への取り組みをスタート。今後補助事業の導入を加速していく。

検証

高性能林業機械購入に対し、国費と町費で支援を行う予定です。

27年度予算において1980万円の補助金を可決しました。

要望5

【要望5】他に5件の施策要望を行いましたが、新規の事業は27年度当初予算には反映されなかったため、今後も要望していきます。

小児科の医師確保

要望6

ラジオ難聴地域の解消

要望7

農業版すぐやる予算の導入

要望8

IT（情報技術）を活用した事業

要望9

観光の町としての看板設置

～まちのこえ～

集団移転地に家を建築



ほこいし まさずみ
箱石 正純さん
(小本・56歳)

被災した家屋に応急処置をして住んでいましたが、修繕にかなりの金額が必要でした。また、築50年以上経過していたので、集団移転地へ家族4人で引っ越すことを決意しました。この4年間短かったような長かったような気がします。8月までには完成する予定なので、待ち遠しいです。

岩泉高校の魅力アップ



かわむら あみ
川村 亜美さん
(小川・15歳)

岩泉高校は、米国ウィスコンシン州デルズ市との交流など国際交流が盛んに行われているので、在学中に外国人と交流することを楽しみにしています。将来は教育に関係する仕事をしたいと思っています。大学は、授業料などお金がかかるので、町の補助制度はととても助かります。

体に向け大改修



少年野球県大会の開会式（岩泉球場）

3月定例会のあらまし

3月定例会は2月17日から3月6日までの18日間にわたり開かれました。初日の本会議では、伊達勝身町長から平成27年度の施政方針が表明され、これに基づく新年度予算など45議案が提出されました。

一般質問には8人の議員が登壇し、住宅施策などについて質問しました。条例、予算関連の議案は2つの特別委員会を設けて集中審査。その結果、請願1件は反対多数で不採択、そのほかの議案は全会一致で原案のとおり可決・同意しました。

平 成28年度の国民体育大会がいわて国体として正式決定となり、岩泉球場が軟式野球（成年男子競技）開催会場地となったことから、球場隣接地の用地を取得し、練習グラウンドや駐車場の整備をはかります。

また、球場建築後21年が経過していることから、併せて大規模な改修を行います。

いない。今後も取得に向け努力していく。

問 レフト側、ライト側の客席を増設するべきと思うがどうか。（三田地和彦委員）

答 震災後初の東北地区での開催ということで、お金をかけない国体を目指している。工夫をこらし、予算をかけない方向で整備を検討する。

答 引き続き用地交渉にあたっていく。

問 練習用グラウンドの用地確保図面が示されたが、飛び地となっている。第2球場になるよう用地買収を進められないか。（畠山直人委員）

答 交渉は続けているが、承諾に至って

問 第2球場が必要なのは、国体後における大会誘致が俄然有利になる。用地確保には強い意志をもってあたるべき。（野館泰喜委員）

主な整備内容

(1) 周辺環境整備		内野スタンド床防水等改修	
練習用グラウンド	4000 平方メートル	屋外構造物等老朽箇所修繕	
駐車場	8000 平方メートル	(3) 全体事業費	1 億 6795 万円
フェンス設備		設計監理委託料	1109 万円
(2) 大規模改修		工事費	1 億 2832 万円
ラバーフェンス、スタンド、バックスクリーン等の塗装		原材料費	124 万円
バックネット改修		公有財産購入費	2725 万円
		物件移転等補償費	6 万円

楽天イーグルス 岩泉球場

いわて国

国体の成功を願う



さとう けいと
佐藤 啓斗くん
(岩泉・15歳)

小学生のころから岩泉球場で野球をしていました。皆さんのおかげで中総体では準優勝、東北大会ではベスト8まで進むことができました。球場がリニューアルされ国体が成功するとともに、岩泉でたくさんの野球が行われるよう願っています。



副町長の選任に同意

本年3月31日で退任する橋場覚副町長の後任として、町総務課長の中居健一さん(60)を任命することに同意しました。



なかい けんいち
中居 健一さん

任期は、4月1日から31年3月31日までの4年間です。

中居さんは、久慈高校卒で、政策推進課長補佐や経済観光交流課長を経て、平成23年4月から総務課長です。昭和29年10月1日生まれ。岩泉町安家出身。

新年度 史上第2位の182億円

平

成27年度の一般会計と7つの特別会計を合わせた当初予算総額は、182億4180万円に決まりました。

このうち一般会計は、史上第2位の額となる136億7500万円、前年度当初予算と比べて20億5500万円、17.7%の増となりました。27年度は、復興計画

の発展期と新岩泉町まちづくり総合計画後期基本計画の初年度にあたりです。復興計画との整合性ははかり、引き続き小本地区の復興

が岩泉町全体の振興と発展につながるよう積極的に予算編成されたものです。

(予算の概要や特別委員会の審査内容は8ページから11ページに掲載しています)

賛成

林崎 寛次郎 議員

この閣議決定は、海外で戦争する国への道を開くものとなっている。このような大転換を一遍の閣議決定で強行するということは立憲主義を根底から否定するものである。よって、請願に賛成する。

討論

主権及び平和主義の行使を認める閣議決定を撤回し、集団的自衛権の行使を可能とする全ての立法や政策を行わないことを求める請願

▶採決結果

賛成1人、反対10人で不採択

反対

八重樫 龍介 議員

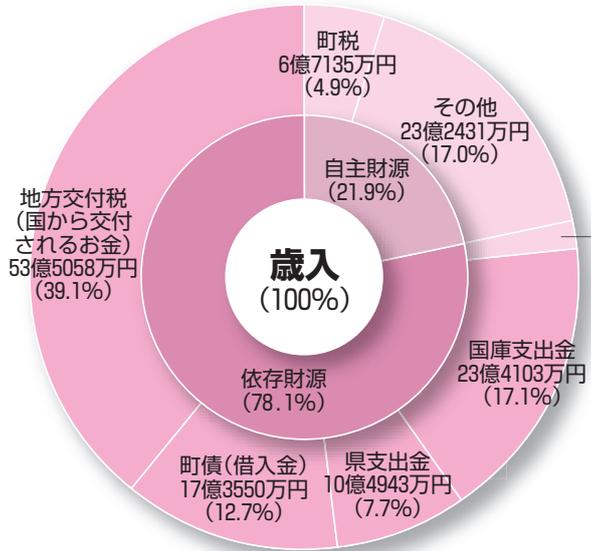
集団的自衛権については、さまざまな議論があり、熟慮すべき大きな問題でもある。また、国が責任を持つて考えることでもある。このため、閣議決定を撤回することという内容の請願に反対する。

予 算

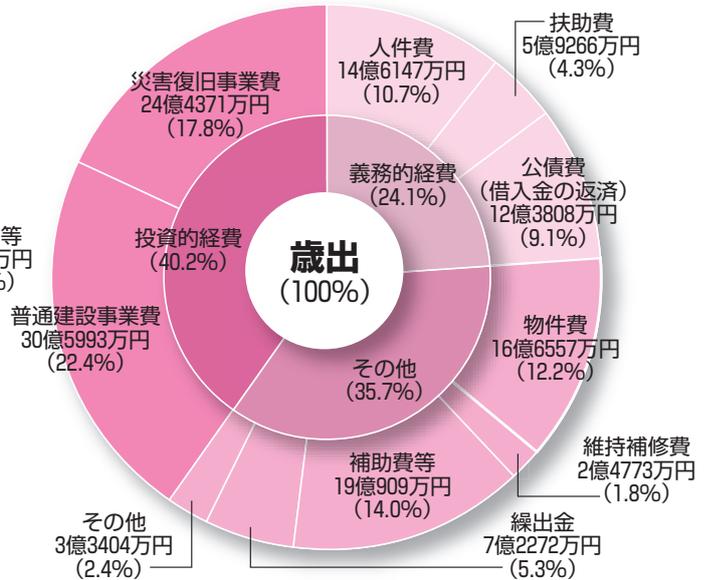
総額182億円を



一般会計 136億7500万円の内訳



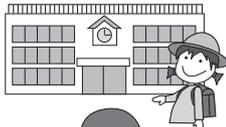
〈収入の内訳〉



〈支出の内訳〉

● 普通建設事業費

道路、学校などの建設費



● 物件費

旅費、消耗品など消費的性質の経費



● 補助費等

補助金、交付金などのお金



● 扶助費

児童手当の支給や各種扶助のためのお金



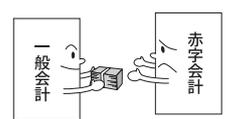
● 維持補修費

公共施設を管理するために必要な経費



● 繰出金

ほかの会計などに移動するお金



● 平成27年度各会計の当初予算額

会計名			予算額	前年度比 (伸び率)
一	般 会 計		136億7500万円	17.7%
特 別 会 計	国民健康保険	事業勘定	16億8150万円	8.0%
		診療施設勘定	3270万円	0.0%
	後期高齢者医療	1億1440万円	12.9%	
	介護保険	事業勘定	15億790万円	3.0%
		サービス事業勘定	1350万円	9.8%
	簡易水道	8億4220万円	42.1%	
観光事業	2億270万円	28.0%		
公共下水道事業	1億6810万円	▲2.1%		
大川財産区	380万円	▲28.3%		
合 計			182億4180万円	16.1%

子育て支援住宅 整備事業

1443万円



子育てしやすい岩泉町に！
新たな一歩を踏み出しました

安心して子育てできる環境を整えるため、子育て支援住宅を整備し、歩道の整備や住宅建築の設計委託を行います。

28年度完成を目指します。

- 場所
岩泉小学校付近
- 区画
一戸建て住宅 12戸
- 入居条件
夫婦で子どもがいること

クローズアップ 新事業

町は、基本目標の「大きな樹が育ち、明日が見える岩泉」を実現するため、さまざまな事業を展開しています。
ここでは新年度の主な事業について内容を紹介합니다。

胃がんリスク検診事業 36万円



胃がん検診の受診率が他のがん検診より著しく低いことから、胃がんリスク検診（ピロリ菌や胃粘膜の萎縮状況から胃の健康度を確かめる検査）費用を補助し、健康管理意識の普及をはかります。

- 対象者
20歳から
50歳までの
節目年齢者

● 40歳以上の検診受診率(25年度)

胃がん	大腸がん	肺がん
22.2%	38.9%	65.6%

路線バス高齢者利用促進事業 708万円



高齢者も住みやすい町へ！町内区間のバス料金が半額になります

路線バスの利用促進と高齢者の負担軽減をはかるため、町内区域（町内の乗降に限ります。）の路線バスを利用する高齢者の運賃が実質、半額になります。

- 対象者
65歳以上の町民
- 半額で利用する方法
 - ▷ 町民バス
バス回数券を半額で購入します。
 - ▷ 早坂高原線、宮古小本線
通常運賃を支払った後、運転手から証明書を受け取り、後日役場へ申請します。



どんなグルメができるかな？

ご当地グルメ 推進事業 150万円

町内の食材を使ったご当地グルメを確立し、町内外へPRを行う団体へ補助します。

新年度予算審査の特別委員会（菊地弘巳委員長）は、3月3日から6日までの4日間の日程で開かれました。震災復旧・復興に関する予算やまちづくり後期計画に関する事業などを慎重に審査し、全会計の予算を可決と決定。その後の本会議で、全会一致で原案のとおり可決しました。委員会の審査の中からいくつかの質疑を要約してお伝えします。

観光推進に拍車

長年懸案だった龍泉洞周辺の用地取得が地権者の協力により決まりました。早期の環境整備が望まれます。

問 用地を取得したことで、龍泉洞の周辺開発にいよいよ本腰が入る。緊急に環境整備を行うべきで、それが重い決断をした地権者への礼儀でもある。

（野館泰喜委員）

答 可能な限り早急に行う考えである。業者に依頼する部分と直営で行う分など精査し、できるだけゴールデンウィーク前の整備を目指す。

問 日本ジオパーク委員会に認定された



周辺用地の取得により、早急な整備が望まれます（龍泉洞）

ジオサイトを生かした誘客が必要である。攻めの予算を組むべきではないか。

（三田地久志委員）

答 地域づくり支援員を活用し、踏み込んだ取り組みをはかる。



ジオパークとは

科学的に貴重な地質遺産を複数含んだ自然の公園。

龍泉洞や安家洞などは25年にジオサイトの認定を受けました。

問 観光センター等活用基本構想委託料とあるが、どのような構想か。

（三田地和彦委員）

答 旧JR岩泉駅舎内の観光センターの老朽化が激しいことから、耐震補強を行うとともに、誘客を視野に入れた旧JR岩泉線の活用に関し基本構想をコンサルタントに委託しようとするものである。

問 鉄道が入ってこない旧駅舎周辺より、龍泉洞周辺の環境整備

答 鉄道が入ってこない旧駅舎周辺より、龍泉洞周辺の環境整備

に集中して取り組むべきでは。

また、線路の有効利用は必要だが、橋梁部分等はJR管理になっており、町で管理する部分が寸断されている。線路の有効利用を諦めることも選択肢の一つにしては。

（野館泰喜委員）

答 廃線後の岩泉線は、今でも鉄道マニアから注目されていると聞く。費用対効果を含め、活用の有無について検討していく。

津波注意報が発令中に 議会を開会

問 津波注意報が発令中の2月17日に、予定どおり議会が開かれた。

招集権者の町長と開会権者の議長で十分な話し合いがなされ開会する運びになったと思うが、新聞等で報道される残念に感じている。このことについて、見解を聞く。

（佐々木久任委員）

答 災害警戒本部では各課の体制を整えるとともに、現地に災害警戒本部小本支部と

消防団の現地指揮本部を設置し、十分な体制を整えていた。

また、津波注意報発令から経過した時間と津波が観測された時間により、津波警報等への切り替えがないと判断し、議会の開会に至っている。

今後は、災害の内容により判断するよう基準を作成する。

復興関連予算に 約34億円を投入

東日本大震災から4年を経過し、27年度は公立学校災害復旧事業をはじめ総額34億4244万円の予算が可決されました。主な事業は左記の表のとおりです。

問 小本地区複合施設について、杭工事などで遅れを感じる。完成見通しを示せ。

(小成茂委員)

入居者の健康状態は、復興課の保健師や社会福祉協議会の生活相談員等で定期的に見守りをしている。

答 心配をかけたが予定どおり、本年10月に仮オープン、12月には全面オープンする予定。

問 仮設住宅の入居現況を示せ。また、健康状態はどうか。

(八重樫龍介委員)

答 143区画中77世帯が入居している。これには、復興支援員等14世帯も含まれる。

当初予算の主な震災復旧・復興事業

事業名	予算額	主な内容
公立学校施設災害復旧	24億387万円	小本小、小本中の移転復旧工事ほか
小本地区地域資源活用	1億6009万円	漁師の産直施設整備工事ほか
被災者生活再建支援	1億4875万円	被災者の住宅再建に対する支援

*23事業の中から主な事業を掲載

クマ、シカ対策

問 クマ、シカ、カワウの捕獲数は。また、捕獲に制限はあるか。(八重樫龍介委員)

答 ツキノワグマ15頭、ニホンジカ110頭(1月末現在)、カワウ7羽を捕獲している。なお、ツキノワグマを除いては制限はない。

問 町が処理場を設置し、駆除したニホンジカを食肉利用する考えはないか。(三田地久志委員)

答 食肉利用は来年度具体的な検討に入る予定である。鳥獣被害防止総合対策交付金事業を申請中である。

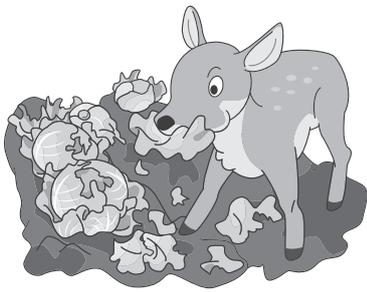
る予定である。鳥獣被害防止総合対策交付金事業を申請中である。

問 ニホンジカの駆除処理を山間部で行った場合、水源地が近い集落もある。対策を講ずるべきだ。(坂本昇委員)

答 衛生面については、県や猟友会等と相談していく。

問 予算では何頭の駆除を考えているか。(三田地泰正議員)

答 300頭を見込んでいる。



農業施策を問う



牛乳でてこ〜い(おでんせ・べごっこフェスタ。牛の乳しぼり体験の様子)

問 青年就農給付金、農業後継者・新規農業者支援事業の相談件数を聞く。現状では何人が就農する見込みがあるか。

また、希望者が全員就農できるよう、運用を検討するべきでは。(野館泰喜委員)

答 就農相談件数は11件である。5年分の農業経営計画の組み立てに取り組んでいるため、就農は先送りになっている。支援を受けるために

は、一定の基準がある。指標等により、公平性や合理性が必要と考えている。

問 町有牛の購入を予算化する経緯は。(三田地泰正委員)

答 26年度に岩泉乳業から酪農の振興という事で指定寄付を受けた。

これを町有牛の購入と位置づけ、1頭あたり125万円の牛を北海道から8頭購入する計画である。



建設予定地では、現在も月4日産直施設が開かれています（安家産物直売所）

平成27年秋
完成予定

待望の産直施設 安家地区に！

条例補正予算等審査特別委員会

条例補正予算等審査の特別委員会（坂本昇委員長）では、岩泉町日本短角種肥育素牛導入資金貸付基金条例などを慎重に審査し、付託された議案すべてを可決すべきと決定。その後の本会議で、全会一致で原案のとおり可決しました。委員会の審査の中から、いくつかの質疑を要約してお伝えします。

問 予定地は、過去に牛のおせりなどで盛り上がった場所

（三田地泰正委員）

答 予定地は、過去に牛のおせりなどで盛り上がった場所を選んだ大きな理由は、
問 産直施設は利益や発展性を考え、地の利が良い県道沿いにつくるべきだ。説明のあった予定地は、県道から離れている。この場所を選んだ大きな理由は、

問 産直施設の建設予定地は過去に水害があり、危険と思われる。（合砂丈司委員）

答 水害対策として、嵩上げを行う。

問 この産直施設で目玉になる商品は何か。また、営業日はどうか。（三田地泰正委員）

答 商品は、栗まんじゅう、きのこ、ラーメン等を考えている。営業は週末を中心に

問 産直施設の建設予定地は過去に水害があり、危険と思われる。（合砂丈司委員）

答 産直施設の建設予定地は過去に水害があり、危険と思われる。（合砂丈司委員）

問 初年度や2年目は、担当課でどのように支援を行う予定か。（野館泰喜委員）

答 農業改良普及センター等関係機関から協力を得ながら、勉強会等を開催する。

問 初年度や2年目は、担当課でどのように支援を行う予定か。（野館泰喜委員）

答 初年度や2年目は、担当課でどのように支援を行う予定か。（野館泰喜委員）

■事業費

6427万円

- ▷産直施設等建築工事
産直 約24坪
倉庫 約12坪
- ▷既存建物等撤去工事
- ▷外構工事（取付道路、駐車場整備）
約1292平方メートル
- ▷設計管理委託料
- ▷備品等

独居老人
健康状態の把握は
見守り訪問を実施

問 独居老人の孤独死が数件あったと聞いているが、町で把握しているか。

(三田地久志委員)

答 高齢者の見守り訪問で発見された事例がある。すぐ発見することは難しい状況であるが、あらゆる手段を使って把握していく。

問 介護認定を受けるほどではない認知症気味の高齢者の安否確認について、双方の通信システムを使い見守りを強化する考えはないか。

(三田地久志委員)

答 今後、介護保険制度でも認知症施策の割合が高くなっていく。町としても見守りなどを強化していく。



健康への意識も大切です (裏ワザ運動教室の様子)

新規条例

**乳牛や黒毛和牛への支援は
既存の補助制度を活用する**

問 日本短角種肥育素牛導入資金貸付基金条例では、短角牛の肥育だけが対象である。

するべきである。素牛導入に限らず、畜産や酪農の諸課題に活用できる基金を制定する考えはないか。

また、この基金に類似する制度があるので、そちらを活用すべきではないか。

この基金により、短角牛肥育農家の資材購入先の選択肢が

現在支援されていない部分を町単独で支援

するべきである。素牛導入に限らず、畜産や酪農の諸課題に活用できる基金を制定する考えはないか。

条例改正と補正予算の主な内容

- ◆岩泉町日本短角種肥育素牛導入資金貸付基金条例の制定
貸付対象者が、県内家畜市場等で日本短角種の肥育素牛を導入する費用に相当する額を無利子で貸し付けするものです。
- ◆小本地区復興排水施設・道路改良舗装工事 ▲2億円 (合計: 4億9035万円)
工法を見直し、自然流下による排水に変更したことによる減額です。
- ◆指定寄附金 1000万円
岩泉乳業(株)から、将来の本町酪農の健全な維持発展と安定した生乳生産確保のために寄付されるものです。

●3月補正予算の状況

会計名		補正額	補正後の予算額	
一	一般会計	▲12億7511万円	121億7858万円	
特別会計	国民健康保険	事業勘定	▲3201万円	15億3861万円
		診療施設勘定	▲26万円	3244万円
	介護保険	事業勘定	▲474万円	14億6040万円
		サービス事業勘定	▲44万円	1186万円
	簡易水道	▲1018万円	5億9179万円	
	観光事業	▲655万円	1億8907万円	
公共下水道事業	▲210万円	1億7011万円		
大川	財産区	95万円	254万円	

森林認証

**委託料を増額した理由は
貯木場の整備計画を作成**

問 森林認証林拡大事業委託料661万円

地域木材の流通促進をはかるため、貯木場の整備に伴う実施計画書の作成を行う。

円の増額理由は、(八重樫龍介委員)

貯木場の整備に伴う実施計画書の作成を行う。

条例補正予算等審査特別委員会

請願・陳情

3月定例会に提出された請願は3件でした。総務常任委員会に審査を付託し、本会議で次のとおり決定しました。

なお、陳情書1件と要望書1件は、議会運営委員会にて協議し、議員と町当局へ資料配付しました。

採択

■被災者生活再建支援制度の拡充についての請願

▽請願者 被災者生活再建支援制度の拡充を求める署名運動推進協議会 いわて 代表世話人 瀬川愛子

▽紹介議員 八重樫龍介

■手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願

▽請願者 一般社団法人 岩手県聴覚障害者協会 宮古支部長 石黒保定

▽紹介議員 三田地久志

義を否定する「集団的自衛権の行使を容認する閣議決定」を撤回し、集団的自衛権の行使を可能とする全ての立法や政策を行わないことを求める請願

▽請願者 憲法改悪反対岩手県共同センター 代表 佐々木良博

▽紹介議員 林崎竟次郎

採

採した請願の意見書は、議員発議で提案し、全会一致で可決。国の関係機関に送付しました。■被災者生活再建支援制度の拡充を求める意見書

■手話言語法の早期制定を求める意見書

町の考えを問う 一般質問

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をただすこと、あるいは報告や説明を求めることを言います。

結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

内容を要約して登壇順（質問順）にお知らせします。

なお、質疑全文を記録した会議録は、7月上旬ころから町立図書館または役場各支所図書室で閲覧可能となる予定です。

8人の議員が発言 ～質問内容～

① 町独自の住宅建設支援策を 三田地和彦 15 p

① 健康増進の取り組みは
② 生活習慣病とがんの予防は 三田地久志 16 p

① 譲渡型子育て住宅整備を
② 医師確保を全国募集で
③ 地域づくり支援員の確保を 坂本 昇 17 p

① うれいら通りの活性化は
② 地方創生に大胆な施策を
③ 消費税率延期の影響は
④ スマホの子どもへの影響は
⑤ 英語教育の充実度は 三田地泰正 18 p

① 水産物の認証制度活用を 八重樫龍介 19 p

① 第二の人生を過ごせる町に
② 炭鉱跡地の有効活用を 菊地 弘巳 20 p

① 介護支援に商品券発行を
② 子育て支援の拡充を 林崎竟次郎 21 p

① 木材生産・流通の仕組みを
② 水販売の再構築に英断を 野館 泰喜 22 p



町独自の住宅建設支援策を

みたちかずひこ
三田地 和彦 議員

全体の住宅政策に取り組む

伊達 町長

町の考えを問う

三田地和彦議員 全国的に進む人口減少・高齢化、少子化の大潮が押し寄せて来ており、早く対策を講じないと人口減少はくい止められない時期にきている。

国の地方創生事業をフル活用し、町独自の考えを交え、全力で取り組むべきではないか。

特に、結婚適齢期の男女に住宅環境を整えることが必要である。

25年くらい続けて住んだ場合、無償譲渡する考えはないか。

また、地元に残り頑張っている後継者が結婚できないでいることや、兄弟が結婚して里帰りしても、1泊もせず帰って行く状況がある。昔から本町に暮らしている町民の住宅対策が必要と思うがどうか。

伊達町長 個人住宅の建設に対する支援は、個人の資産形成となる

ので相当困難な部分もあるが、建設することは、長期的に町内に住むことにつながる。

宅地分譲も含め、独身者のための住宅や世帯向け住宅、今回整備予定の子育て支援住宅、老年向け住宅、高齢者共同住宅など、町民のそれぞれのライフステージに対応した住宅の確保支援が必要であると考えている。

空き家に関しては、流動化が進みやすくなるよう空き家バンク制度の取り組みなども進めていかなければならない。



定住化のためには、家族が安心して住める持ち家が必要です

また、町営住宅と教員住宅を有効活用していくための一元的管理システムの構築や、任意の仲介団体等の立ち

上げ支援なども含め、町全体の住宅政策の基となる計画の策定に取り組んでいく。



健康増進の取り組みは

三田地 久志 議員
みたち ひさし

受診率の向上をはかる

伊達 町長

三田地久志議員 各種
検診の受診率の向上や
予防活動の取り組みに
ついて聞く。
課題解決のため、検
証と改善を行ってきた
いると思うが、その内
容を示せ。
伊達町長 毎回、未受
診者に対し理由を照会
し改善をはかっている。
健康の重要性の周
知や各種講演会の開
催、健診日や時間帯の
多様化などを進めた

が、決定的な対策には
至っていない。
「男性と一緒の健診は
受けにくい」という意
見を踏まえ、レディー
スがん検診を実施。女
性特有のがん検診を含
め一日で受診すること
ができ、スタッフも女
性だけという県内でも
唯一の健診である。
今後も改善法を研究
し、受診率の向上に取
り組む。

生活習慣病とがんの予防は 幼少期から対策に取り組む

三田地議員 生活習慣
病やがんは、長年の蓄
積により発症する。
健康維持のため野菜
生産農家が安全安心な
生産に取り組み、野菜
の機能性を表示し町内
に提供する指導をする
べきである。
また、脳卒中死亡率
日本一からの脱却をは
かるべく、保健福祉
課・教育委員会・農林
水産課が、横軸でつな
がり、住民の幸せのた

め早急に取り組む考え
はないか。
町長 脳卒中の要因の
一つでもある血管疾患
は、日々の生活習慣の
改善が重要であり、幼
少期からの取り組み
は、脳卒中対策として
最善策である。また、
農家側も安全な野菜の
生産を行い、特徴など
表示し販売することは
重要であり、産直連絡
協議会などの取り組み
として進めたい。

三上教育長 本町の児
童生徒の肥満化傾向
は、中学校では国・県
平均を下回るものの、
小学校では全学年で上
回っている状況にある。
早期の予防が必要と
考え、町独自で実施し
ている生活習慣病予防
健診は、中学校1年生
に加え、26年度から小
学校4年生も対象とし
ている。27年度からは、
個別指導を含めた健康
教育を計画している。



すこ〜しずつ食べてね♪ (離乳食教室)



譲渡型子育て住宅整備を

さかもと のぼる
坂本 昇 議員

入居期限付き住宅で検討

伊達 町長

町の考えを問う

坂本昇議員 子育て支援住宅12戸を岩泉警察署の北側に整備し、低家賃で貸す計画がある。

入居期間は、子どもが中学校もしくは岩泉高校卒業までとなっている。これでは応募するとき二の足を踏んでしまう。一定期間（10年なり15年）入居したら、その住宅を土地付きで譲渡し、定住化につなげるべきではないか。

伊達町長 入居基準など、詳細を詰めていかなければならないが、入居期限付き賃貸住宅として整備しようとするものである。土地建物が賃貸物件のままでは定住化につながりにくいことは認識している。次の段階では、定住化につながるような対策を講じていく。

医師確保を全国募集で視野に入れ公募を検討

坂本議員 済生会岩泉病院の医師数は、ピーク時の半数以下の3人体制が続いている。奨学生医師の勤務を待ちながらも、全国の

ベテラン医師65歳定年者に対し、期限付き再任用の受け皿として公募してはどうか。町長 済生会岩泉病院には、医師確保に伴う

補助金2500万円を交付している。しかし、慢性的な医師不足の解消は困難な状況が続いており、大病院や県立病院からの医師派遣により運営している状況である。奨学生医師の着任を待ちつつ、医師の公募も視野に入れ検討する。

地域づくり支援員の確保を支援協議会を立ち上げ対応

坂本議員 地域づくり支援事業は、人材の確保が危惧される。応募するにあたり目的意識が明確になるような戦略が必要ではないか。また、報酬（賃金）の設定、身の保障などの考えを聞く。町長 27年度は30人程度を見込んでいる。先日、岩泉町地域づくり支援協議会を設立

した。この制度では、住民に近い立場での活動と支援が求められるので、その活動内容を明確にして募集する。なお、報酬は、年齢、職歴、資格等を総合的に勘案し設定していく。



地域住民総出で賑わう大川七滝夏まつり



うれいら通りの活性化は

三田地 泰正 議員
みたち やすまさ

賑わいの創出に取り組む

伊達 町長

三田地 正議員 「プレミアム商品券による購買の拡大」と「空き店舗活用事業による商店街の活性化」の内容と誘客手法、起業による地域の賑わい創出施策について聞く。

伊達 町長 商品券に付加額をプラスすることで、商店街での購買につながり誘客も見込まれる。

空き店舗の利活用は、出店に必要な改修

三田地 議員 人口減少克服・地方創生のためには、従来の概念にと

地方創生に 大胆な施策を

費を助成するものである。

商店街を基盤として起業し、地域資源を活用した賑わいの創出には、国の補助制度を活用し、支援していく。

られない大胆な政策を実行するべきだ。

町長 国の地方創生の考え方を取り入れ、第1次産業を中心とした雇用創出等により、住民との協働を一層進め、集落の維持・活性化をはかっていく。

消費税率延期 の影響は

三田地 議員 27年4月から施行される子ども子育て支援新制度(※)は、消費税率10%が前提だった。

税率改正が延期されたが、制度に影響はない。

町長 消費税率8%による増収で所要額は措置されたので、影響はないと聞いている。

スマホの子ど もへの影響は

三田地 議員 スマートフォン・携帯電話等の使用による子どもへの影響について、本町の現状認識と対応について聞く。

三上 教育長 本町の実態調査の結果をみると、

全国と比べ使用時間は少なく、比較的良好な使用状況といえるが、光回線が整備され、インターネットの閲覧がより身近なものになる。児童・生徒自身が有害サイトに適切に対応できるよう、小中学校の教職員を対象に研修会を開催した。



情報社会。子どもが適切に対応できるように、教職員の研修会を開催しました

英語教育の 充実度は

三田地 議員 国際化が進む中で児童・生徒に英語指導が十分に行われているか。

教育長 小学校5・6年生では、音声や基本的な表現に慣れ親しませ、中学校では、コミュニケーション能力を養うことを目指して授業を進めている。

(※) 幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上をはかる制度



水産物の認証制度活用を

やえがし りゅうすけ
八重樫 龍介 議員

MSC認証の取得を検討

伊達 町長

町の考えを問う

八重樫龍介議員 小本地区地域資源利活用施設整備事業（老人と海作戦）と併せ、豊富な水産物の資源に付加価値を付けた「MSC認証」の取得に取り組みべきと考える。

これは、ロンドンに本部がある海洋管理協議会が定めた認証制度であり、持続的に水産資源を利用できるよう3つの原則を掲げ、第三者機関が厳密な審査を行い、規則等を守った漁業者が認証される制度である。

2012年のロンドンオリンピックでは、持続可能性を重視し、天然水産物はMSCなどの認証を受けた漁業でとれたものに限られた。2020年の東京オリンピックでの原料調達基準は検討中であるが、同様の取り組みが予想される。国内では、昨年末までに2漁業者のみがMSC認証を取得している。

そこで、水産物で東京オリンピックへの出場を目指す思いで、MSC認証の取得に取り組むべきと考えるがどうか。



世界有数の三陸の漁場で捕れた水産物で東京五輪を目指す！

伊達町長 小本浜産の水産物に市場での優位性を与える可能性として、MSC認証は魅力的なものである。既に取り組んでいるFSC森林認証（持続可能な森林の利用と保護をはかる認証制度）と併せて、町全体で資源保全・環境保護に取り組みていることの証明にもなると考えられる。

一方で、MSC認証件数が国内で2件に留まっている現実を考慮すると、認証に至るまでのハードルが高く、一般的な認知度が低いことなどが想定される。本町漁業の基幹である小本浜漁業協同組合の意見を聞きながら、水産業の復興、ひいては小本地区の復興につながるよう、MSC認証の取得について、今後も検討を重ねていく。



第二の人生を過ごせる町に

きくち ひろし
菊地 弘己 議員

住宅の確保に取り組む

伊達町長

菊地弘己議員、日本創成会議の増田寛也氏が出版した「地方消滅」には、このままでは896の自治体が消えかねないという内容が記されており、日本中大変衝撃を受けた。本町は、これまでも子育て支援や婚活支援、高齢者支援や菌床シイタケ栽培によるJUTターン事業など多くの支援を行っているが、もっと思い切った

施策が必要である。定年を迎えた本町出身者が第二の人生を故郷で過ごしたいとの話をよく聞く。その時に、帰りたいが住居がないというケースもある。空き家の活用を大いに検討するべきではないか。

は、平成52年には約51%減少し、5297人になると推計されている。新岩泉町まちづくり総合計画後期基本計画に位置付けた施策を着実に推進しながら、総合的な人口減少対策に対応していきたい。

また、空き家の利活用については、持ち主が帰省する際に利用している場合などもあり、一概に「空き家だから使用できる建物である」との判断が難しい。しかし、IJUターンの受け入れ等を進める上では、住居の確保も重要な要素となることから空き家バンクに取り組んでいきたい。



大盛況の第2回炭鉱ホルモンまつり
(小川炭鉱跡地)

炭鉱跡地の有効活用を 企業誘致は厳しい現状

菊地議員、2年前から炭鉱ホルモンまつりが小川炭鉱跡地で開催され、町内外からの多くの人々が来場し、大変盛り上がっていた。

以前、炭鉱跡地を取得して小川地区の振興拠点として誘致企業やイベント広場に活用するべきではないかとの質問に対し、前向きに検討するとの答弁だったが、その後の経過は、町長、現時点では、道路条件や地理的な要因などにより企業誘致は厳しい現実にある。また、炭鉱跡地という現状からも有効な活用方法を見いだせない状況にある。よって、当面はイベント等で活用しながら、今後の活用方法について調査・検討を続けていく。



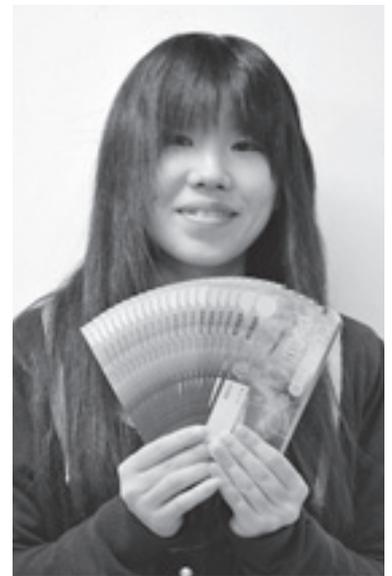
介護支援に商品券発行を

はやしざき きょうじろう
林 崎 寛次郎 議員

利用状況を想定して検討

伊達 町長

町の考えを問う



人気の龍ちゃん商品券

林崎寛次郎議員「介護報酬が平成27年度から大幅に引き下げられる。「介護報酬の大幅な引き下げが続くのであれば、施設は成り立たない」など介護現場からの声がある。国会の質疑の中で「低所得者の介護サービスの購入支援に交付金を活用することは可能」との答弁があった。そこで、入浴回数の増加、ホームヘルプの時間延長など追加のサービスに利用できる商品券を発行してはどうか。

伊達町長 介護用のオ

ムツの現物給付のように、個人負担が無いサービスもある。個人負担が生じるサービスの提供については、利用者の利便性が確保され、利用が促進されるのであれば、交付金を活用した商品券の導入を検討したい。介護報酬の引き下げ等による町内事業者への影響については、状況把握をした上で、町として必要な支援を柔軟に行い、町内の介護環境が低下することのないよう取り組んでいく。

子育て支援の拡充を さらなる検討を行う

林崎議員「3年連続赤ちゃん増加」と報じられた野田村では、医療費や保育料の助成など負担の軽減策が複数の子どもを持ちたい夫婦を支えているように聞いている。

本町より進んでいるところは、保育料の無料化を1・2歳児まで拡充、医療費無料化を高校生まで拡大していることである。本町としてもこの施策を実現すべきでは。

町長「本町では、第3子以降の保育料無料化を実施し、負担軽減をはかっている。医療費助成は、平成26年8月から中学校卒業まで拡充した。医療費無料化および対象者の拡充については、子育て支援施策として効果があると認識している。

さらなる拡充には、医療費の動向を見据え、検討を進めていきたい。

そのほかの質問

- 地方創生について
- 景観再生補助について
- 小規模工事希望者登録制度について
- 国保税資産割廃止の検討について



木材生産・流通の仕組みを

のだて やすき
野館 泰喜 議員

多機能な流通拠点を整備

伊達町長

野館泰喜議員 かつて、暮らしの根幹にあった林業の歴史は、今また形を変えてその振興が迫られている状況にある。東日本大震災の復興需要とバイオマス発電の燃料等木材需要は活況をみせている。

伊達町長 森林資源の持続性を考慮し、計画的かつ安定的な原木供給体制を構築する必要がある。

野館議員 三セクのホールディングス化に向けて、大きな懸念が

水販売の再構築に英断を
新たな需要を掘り起こす



ウォーターサーバーに龍泉洞の水を！

(※) 専用のボトルをセットし、冷水や温水が使用できる給水給湯機器

ウォーターサーバー（※）市場への参入と500ミリリットルのPB商品（小売店等が企画し、独自のブランドで販売する商品）の展開や水に有用な機能を付加した機能水の研究に着手すべきである。

さらに、取水地の変更を含めた製造部門の抜本改革が必要と思うがどうか。

町長 大手企業の参入等により、売上は年々減少しており、抜本改革が必要と考えている。件数はわずかだがPB商品も取り組み始め、さらに拡大をはかっていく。現在の業務をウォーターサーバー市場の主力である12リットルにして市場参入を検討する。海外を視野入れた販路の拡大についても調査研究をしていく。

また、原水の取水井戸については、安定取水を確保するため慎重に検討し、製造工場の充実と合わせ(株)岩泉産業開発と協議の上、取り組んでいく。

人権擁護委員 の推薦



たけはな みちこ
竹花 美千子さん
(小川・65歳)
任期：3年(新任)

県町村議会広報コンクール 3位



受章を喜ぶ編集委員

い わいずみ議会
だより第16
7号(平成26
年4月15日発行)が、
平成26年度岩手県町
村議会広報コンク
ー
ルで11点の応募の中
から「入選2席」
の
新年度予算の分か
りやすいレイアウト
や「どうなりやんし
た：あの提言」など
が評価されました。

(3位)に選ばれま
した。

第1回 臨時会

第

1回臨時会は、
1月27日に開か
れました。2つ
の議案が提出され、全
会一致で原案のとおり
可決しました。

■工事名

岩泉町立小本小学校
及び小本中学校プ
ール移転復旧建築工事

▽金額

3億780万円

■工事名

岩泉町立小本小学校
及び小本中学校外構
及び屋外運動場等移
転復旧整備工事

▽金額

2億304万円

請負者は、2工事と
も宮城建設・小野新・
フジネ経常共同企業体
特定共同企業体です。

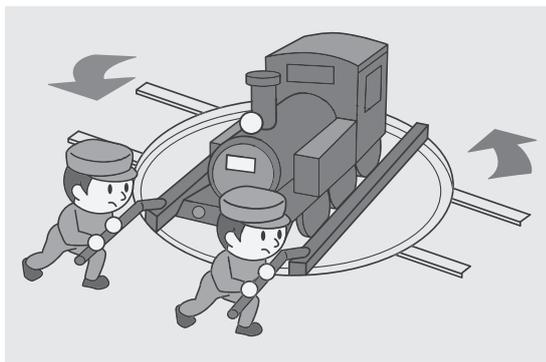
岩泉のへえ〜!



JR線終着駅 の頃の浅内駅

昭和47年まで、JR
岩泉線(当時は小本線)
の終点は浅内駅でした。
そのため浅内駅の一
画に、蒸気機関車を保
管するための機関庫や
水を積むための給水
塔、機関車を回転させ

るためのターンテー
ブル(転車台)等があり
ました。
ターンテーブルは直
径20メートルほどの穴
に円形のレールが敷け
られたような構造でし
た。そして橋の両端に
は取っ手があり、なん
とあの重い蒸気機関車
を動力など使わずに、
たった二人の人間の力
で回転させるのでした。
(岩泉中学校長
田鎖敏昭)



転車台



給水塔の横には、転車
台が埋設されています

岩泉のへえ〜を持参
または郵送で受け付けします。

〒027-0595(住所不要)
岩泉町役場議会事務局

ひとまひとインタビュー

3月定例会の傍聴者数はのべ11人でした。傍聴された方の中から、岩泉の安藤さんに傍聴した感想などをインタビューしました。



あんど かつお
安藤 勝夫さん
(岩泉・71歳)

済生会病院と 連絡を密にし 医師確保を

―傍聴のきっかけは。

安藤 新年度事業で震災復興、地方創生、福祉施策等に対する質疑を期待し傍聴しました。

―傍聴された感想はどうでしたか。

安藤 議員の皆さんは、良く勉強されており、具体的な施策を質問・提言してい

ましたが、当局は「検討する」という答弁が多く感じました。

一般質問は、事前通告していると思われるので、もっと明確に答弁して欲しかったです。

―議員に対する要望がありますか。

安藤 一般質問は、再々質問までと決められているようで、お互い尻切れトンボで終わっている感があります。無制限でも大変と思いますが、質問時間（1人1時間以内）を決めて、徹底的に質疑できるようにして欲しいと感じました。

―議会や町政に対する要望などはありますか。

安藤 町村の存亡が叫ばれている今日、雇用の場の確保と病院や教育の充実が最も重要と思われれます。

特に、医師を確保するため、町は、町立病院的な済生会岩泉病院ともっと信頼関係を密にし、ともに足運び、医師を確保して住み良い町にしたいと思っています。

議会を傍聴しませんか

次の定例会は、**6月上旬**に開催予定です

傍聴の手続きは簡単！

傍聴席の入り口で、名前と連絡先を書きだけです。



表紙にゆせて

今号から表紙のテーマが「ふるさと岩泉の大家族」になりました。

第一弾は、有芸・栃の木の子 藤幸雄さん一家です。

4世代同居の11人家族。最高齢90歳から、1歳6カ月の子どもまで笑い声の絶えない楽しい家族です。

編集後記

3月定例会の一般質問は8人が登壇し、質問内容は多岐にわたるものでした。条例補正予算委員会、新年度予算委員会ともに活発な論戦が行われたと思います。

今号も盛りだくさんの内容となりました。読みやすく伝わるような編集を心がけましたが、いかがでしたでしょうか？ 議会と町民の方々を繋ぐ唯一の広報紙ですので、皆さんの読後の感想をお願いいたします。
(副委員長 三田地久志)

議会広報編集委員会

議長	加藤久民
委員長	合砂丈司
副委員長	三田地久志
委員	八重樫龍介
	林崎 竟次郎
	野館 泰喜
	坂本 昇



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一問伐に寄与した紙一」を使用しています。